

第 2 部 調査結果の解説

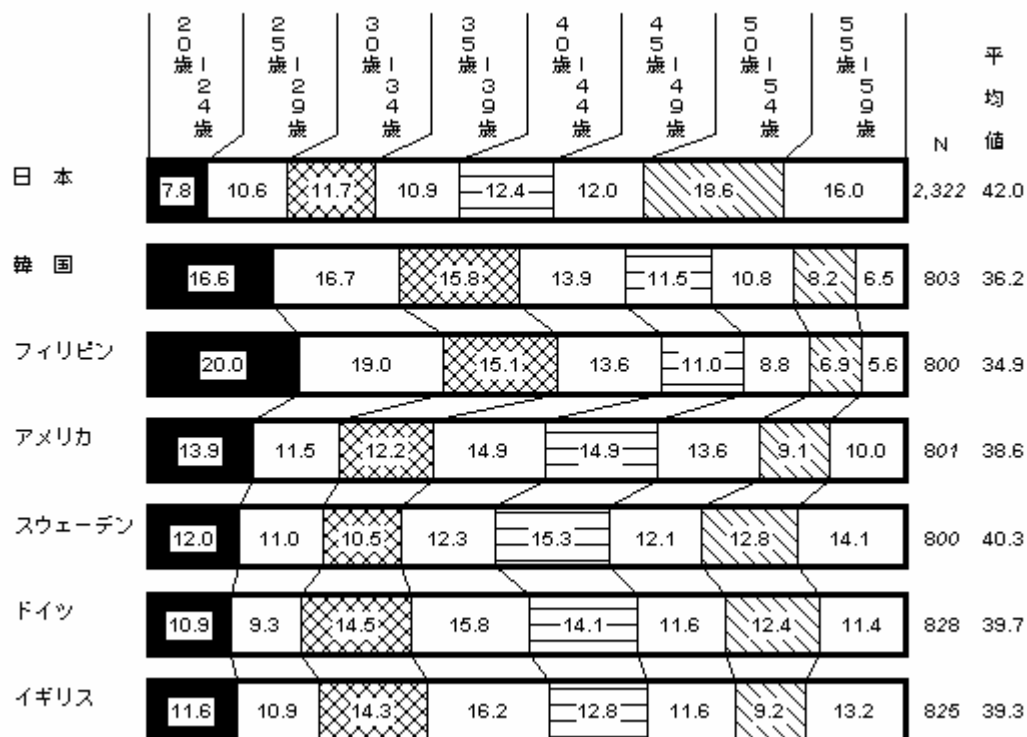
第 1 章

調査対象者の属性

1. 年齢

各国の人口構成比に準ずる。20代（20～24歳と25～29歳の合計）の比率が韓国で33.3%、フィリピンで39.0%と高く、日本で18.4%とやや低いが、欧米諸国のあいだには構成比に大きな違いは見られない。

F2 満年齢



F2 満年齢 (男性 N=3385)

	全体	20-24歳	25-29歳	30-34歳	35-39歳	40-44歳	45-49歳	50-54歳	55-59歳	平均値
日本	1,031	9.5	11.7	11.1	9.8	11	13.2	17.5	16.3	41.6
韓国	401	16.7	17.5	17.5	11.7	10.5	11.5	7	7.7	36.1
フィリピン	400	23.3	21	14	10.8	8	9.3	6.5	7.3	34.5
アメリカ	397	12.3	12.6	12.3	15.9	14.1	13.9	9.3	9.6	38.7
スウェーデン	373	12.9	11.3	11.3	13.4	13.9	11	12.6	13.7	39.8
ドイツ	414	11.8	9.2	15.7	15.9	12.6	10.9	13.5	10.4	39.3
イギリス	369	10.6	10.8	12.7	16.3	11.1	13	8.9	16.5	40.2

F2 満年齢 (女性 N=3794)

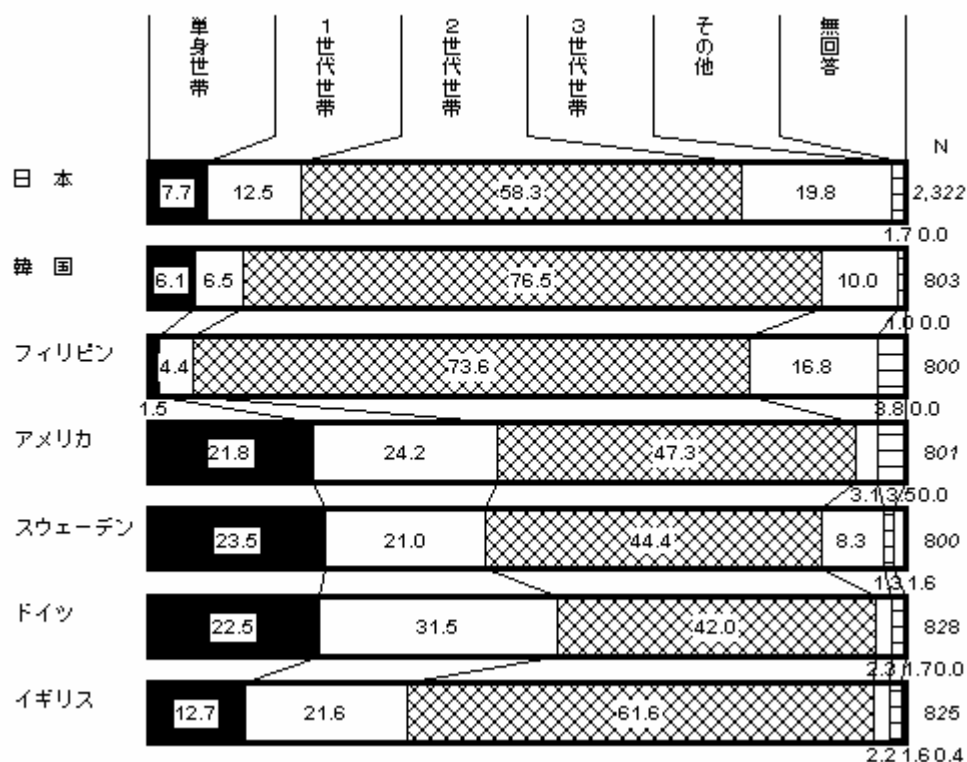
	全体	20-24歳	25-29歳	30-34歳	35-39歳	40-44歳	45-49歳	50-54歳	55-59歳	平均値
日本	1,291	6.4	9.8	12.2	11.8	13.6	11	19.6	15.7	42.3
韓国	402	16.4	15.9	14.2	16.2	12.4	10.2	9.5	5.2	36.3
フィリピン	400	16.8	17	16.3	16.5	14	8.3	7.3	4	35.4
アメリカ	404	15.3	10.4	12.1	13.9	15.6	13.4	8.9	10.4	38.6
スウェーデン	427	11.2	10.8	9.8	11.2	16.4	13.1	12.9	14.5	40.7
ドイツ	414	9.9	9.4	13.3	15.7	15.7	12.3	11.4	12.3	40.1
イギリス	456	12.5	11	15.6	16.2	14.3	10.5	9.4	10.5	38.5

2. 家族構成

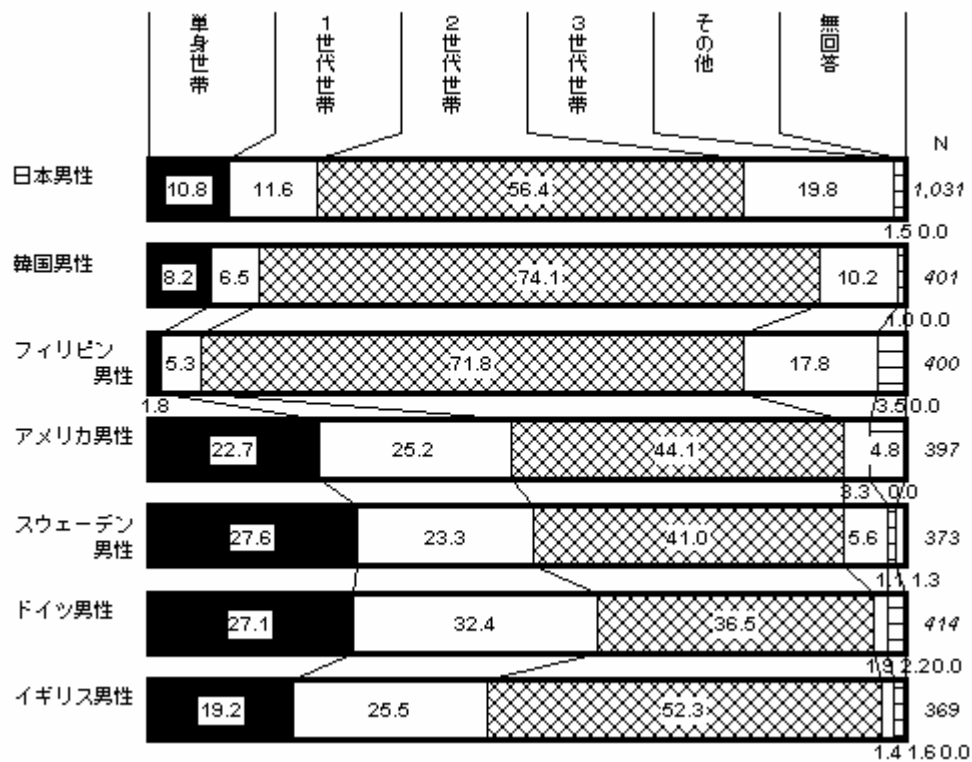
日本・韓国・フィリピンのアジア 3 か国では 2 世代世帯（親と子の同居）・3 世代世帯（親と子と孫の同居）が多い。アメリカ・スウェーデン・ドイツ・イギリスの欧米 4 か国は、アジア 3 か国と比べ、単身・1 世代世帯（夫婦・カップルのみで同居）の割合がとても高い。欧米 4 か国のなかではイギリスの単身・1 世代世帯が 34.3% でやや少なく、スウェーデンで 3 世代世帯が 8.3% と多い。なお、スウェーデンの 3 世代世帯は、女性で 10.5%、男性で 5.6% と、性差がある。

男女別に見ると、全ての国で単身世帯の比率は男性の方がかなり高いが、アメリカでは男性 22.7%、女性 21.0% とその差が小さい。なお、フィリピンも男女差は小さいが、単身世帯の全体に占める比率自体が 1.5%（男性 1.8%、女性 1.3%）と、際立って小さい。

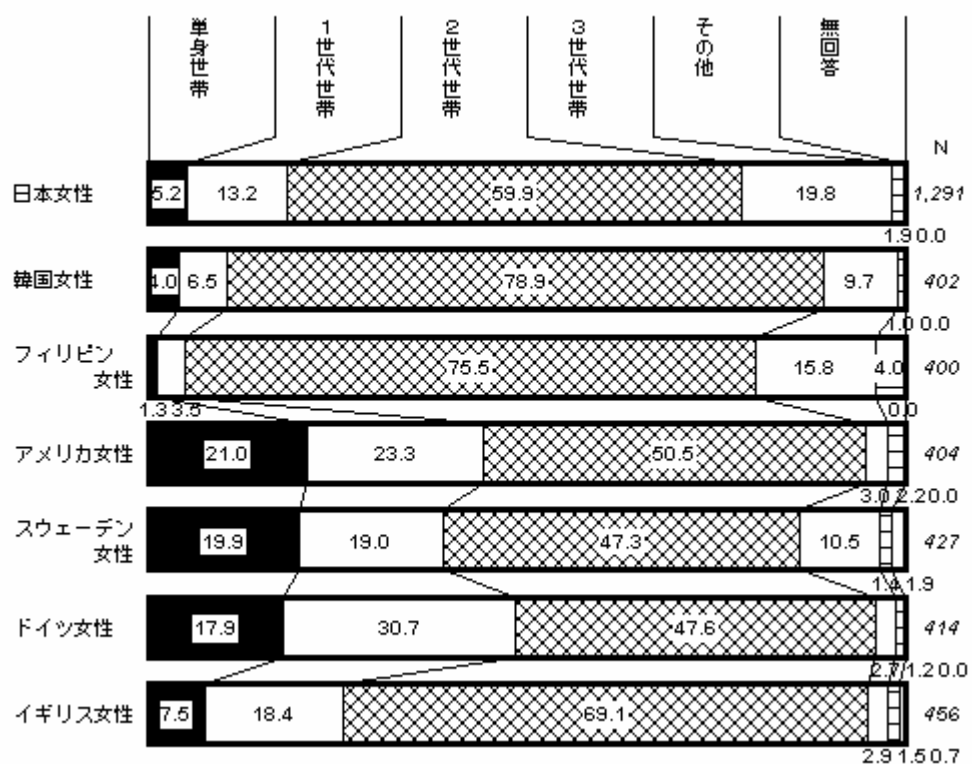
F 3 現在同居している家族構成



F3 現在同居している家族構成



F3 現在同居している家族構成

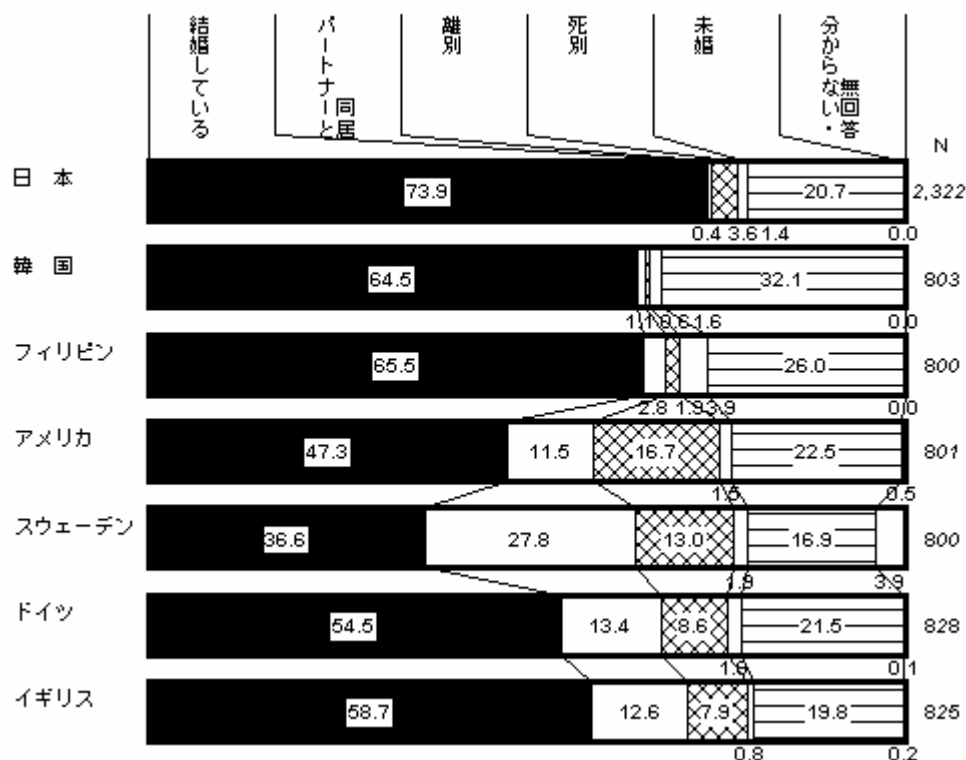


3. 未既婚

日本・韓国・フィリピンのアジア3か国は、「結婚している」か「未婚」かに殆どの回答者が当てはまってしまふ、「皆婚社会」である。なお、韓国・フィリピンの未婚率の高さは、20代の人口構成比が高いためと思われる。アメリカ・スウェーデン・ドイツ・イギリスの欧米4か国では、「パートナーと同居」「離別」などがかなりの比率を占めている。特にスウェーデンは「パートナーと同居」が27.8%と多い。「離別」が最も多いのはアメリカの16.7%である。

男女別に見たときに、多くの国で女性の方が既婚率が高いのは、20~30代における既婚率が女性のほうが高いためである。(下掲参考表参照)。

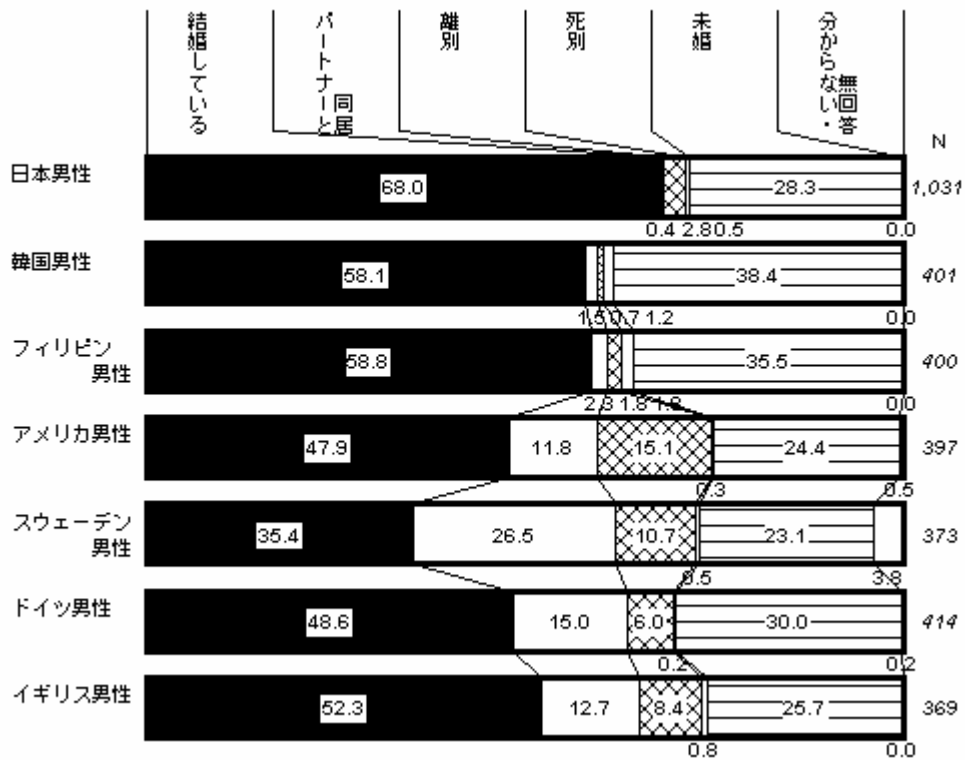
問13 未既婚



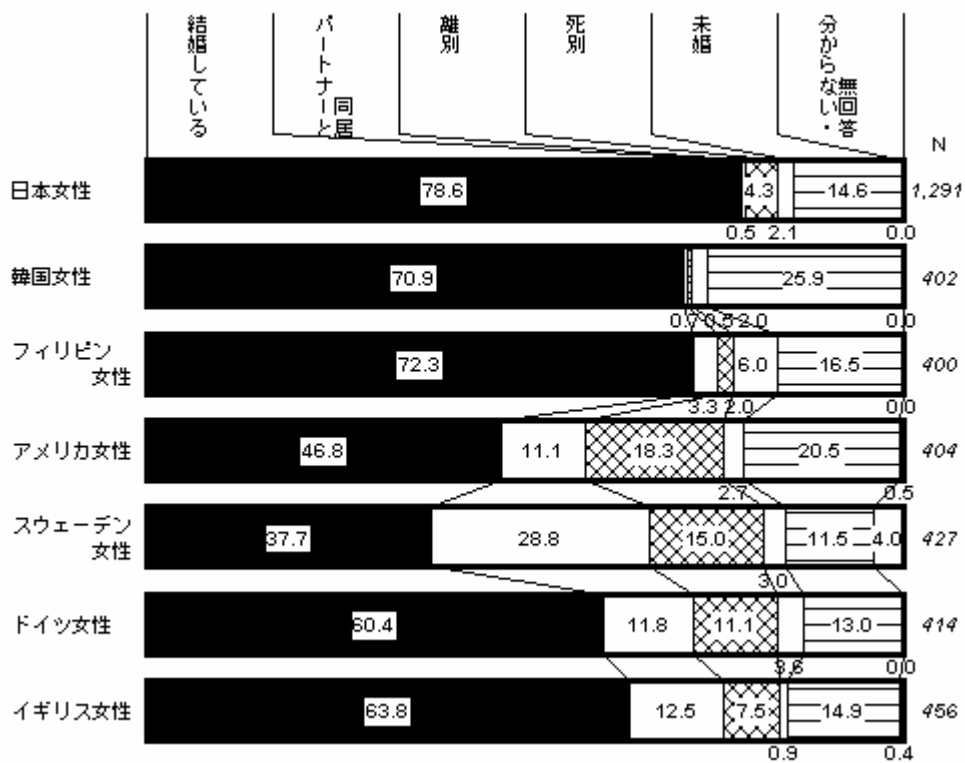
<参考> 未既婚 性年齢別 (7カ国計 N=7179)

		全体	結婚している	パートナーと同居	離別	死別	未婚	無回答・わからない
男性	20-29 歳	888	16.7	9.6	1.4	0.3	71.3	0.8
	30-39 歳	873	58.1	11.9	4.9	0.2	24.5	0.3
	40-49 歳	796	73.4	6.4	8.2	0.4	11.3	0.4
	50-59 歳	828	78.0	4.1	9.1	1.9	6.4	0.5
女性	20-29 歳	858	35.4	14.7	2.0	0.1	46.4	1.4
	30-39 歳	1,023	72.3	8.2	6.1	0.3	12.5	0.6
	40-49 歳	969	73.4	6.1	11.4	2.7	6.3	0.2
	50-59 歳	944	76.8	2.9	10.0	7.6	2.6	0.1

問13 未既婚



問13 未既婚

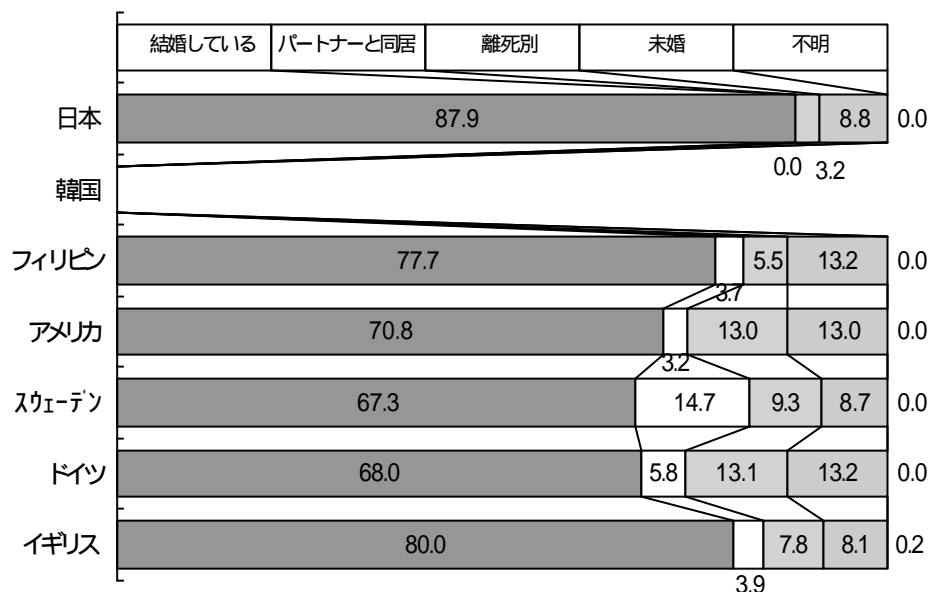


1982 年度調査との比較

いずれの国においても既婚者が減り、離死別者が増えているが、特にアメリカとスウェーデンの変化が著しく、既婚者は 1982 年の 6 割前後にまで減少する他方で同棲者と離死別者が大きく増加している。同棲はアジアではいまだに少数派であり、大きな変化はない。未婚者の増加が目立つのはイギリス(8.1%から 14.9%へ)日本(8.8%から 14.6%へ), アメリカ(13.0%から 20.5%へ)の 3 国である。欧米 4 カ国の中で、ドイツは変化が比較的小さい。

1982 年度調査は女性のみを対象にしているため、本報告書内の 1982 年度調査との比較については全て、女性データのみでの比較である。また、韓国は調査していない。

未既婚 (1982年女性)



未既婚 2002年(女性)と1982年(女性)の比較

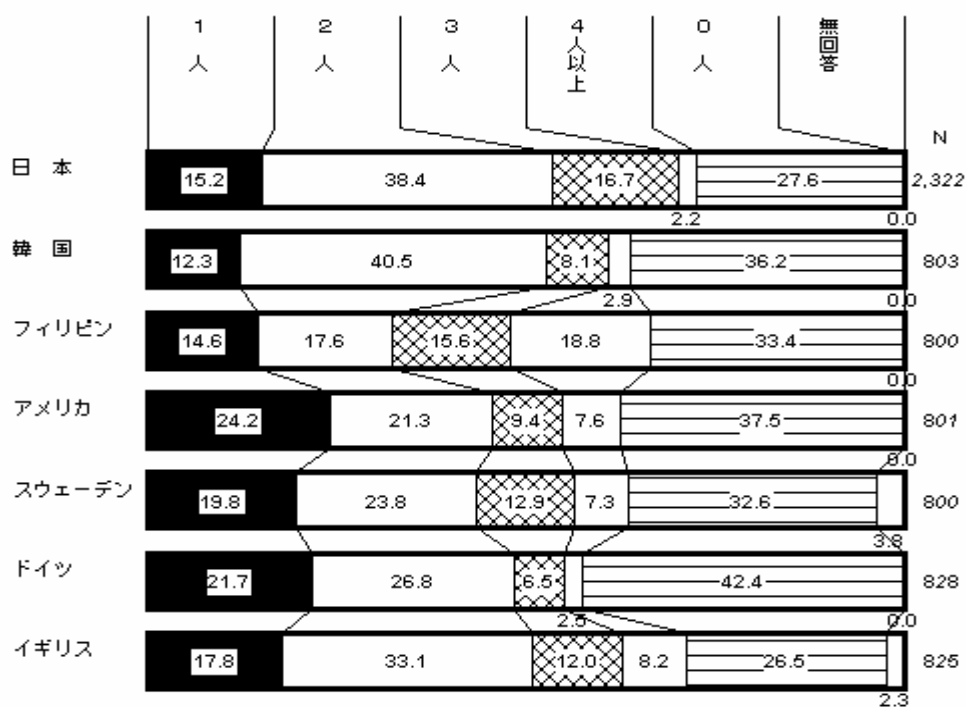
国	年度	合計	(%)					わからない・無回答
			結婚している	パートナーと同居	離死別	未婚		
日本	2002	1291	78.6	0.5	6.4	14.6	0.0	
	1982	1294	87.9	-	3.2	8.8	-	
韓国	2002	402	70.9	0.7	2.5	25.9	0.0	
	1982		-	-	-	-	-	
フィリピン	2002	400	72.3	3.3	8.0	16.5	0.0	
	1982	1200	77.7	3.7	5.5	13.2	-	
アメリカ	2002	404	46.8	11.1	21.0	20.5	0.5	
	1982	1200	70.8	3.2	13.0	13.0	-	
スウェーデン	2002	427	37.7	28.8	18.0	11.5	4.0	
	1982	1220	67.3	14.7	9.3	8.7	-	
ドイツ	2002	414	60.4	11.8	14.7	13.0	0.0	
	1982	1333	68.0	5.8	13.1	13.2	-	
イギリス	2002	456	63.8	12.5	8.4	14.9	0.4	
	1982	1224	80.0	3.9	7.8	8.1	0.2	

4. 子供の数・末子年齢

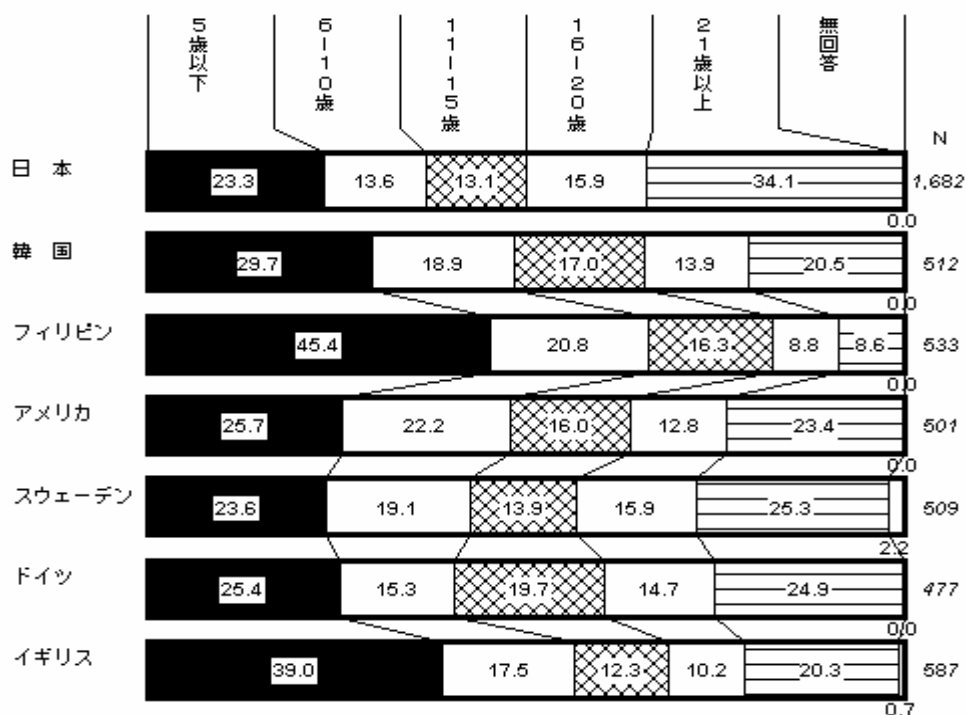
全回答者のうち日本と韓国は、「子供2人」が4割前後を占め、「4人以上」は両国とも3%未満の少数である。アメリカ(45.5%)・スウェーデン(43.6%)・ドイツ(48.5%)では「1人」と「2人」がほぼ同じくらいの比率で、合計で4割から5割近くを占めている。イギリスは欧米4か国のうちでは「2人」にやや偏った傾向(33.1%)があり、「4人以上」も8.2%を占める。子供なし(0人)の比率は韓国・フィリピン・アメリカ・スウェーデンでは30%台、日本とイギリスは20%台後半だが、ドイツでは42.4%でもっとも高い。

男女別に見ると、いずれの国でも男性の方が子供なしの比率が高く、日本とイギリス以外では40%をこえる。女性の子供なしは、アメリカ・ドイツ以外は30%未満であり、もっとも多いドイツでも35.5%である。

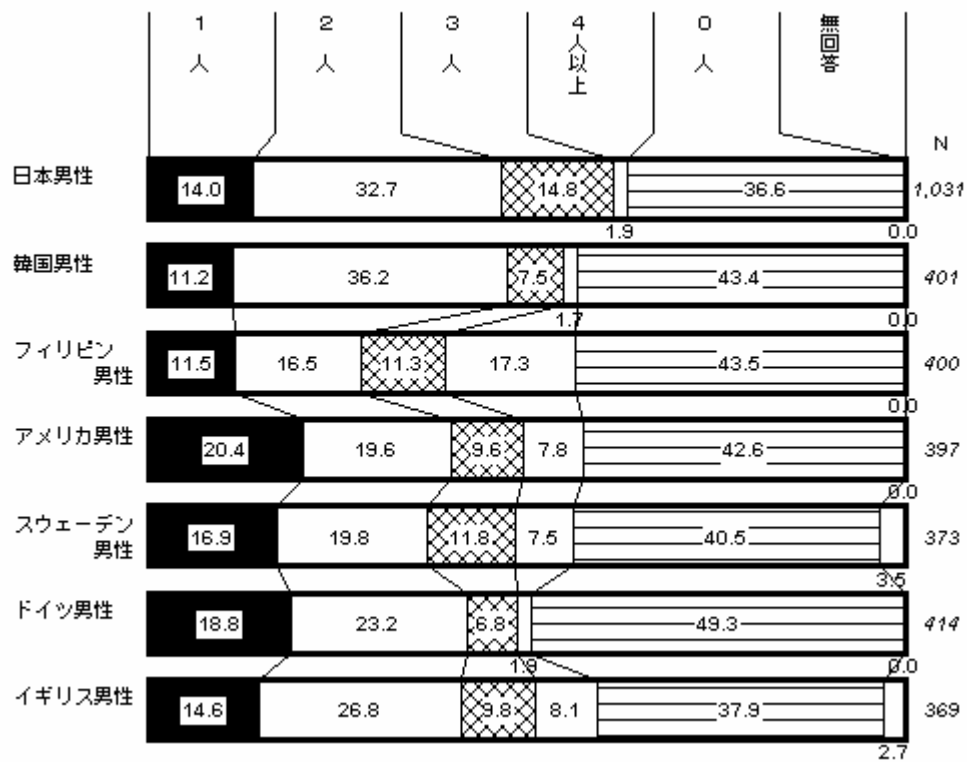
F 4 子供の人数



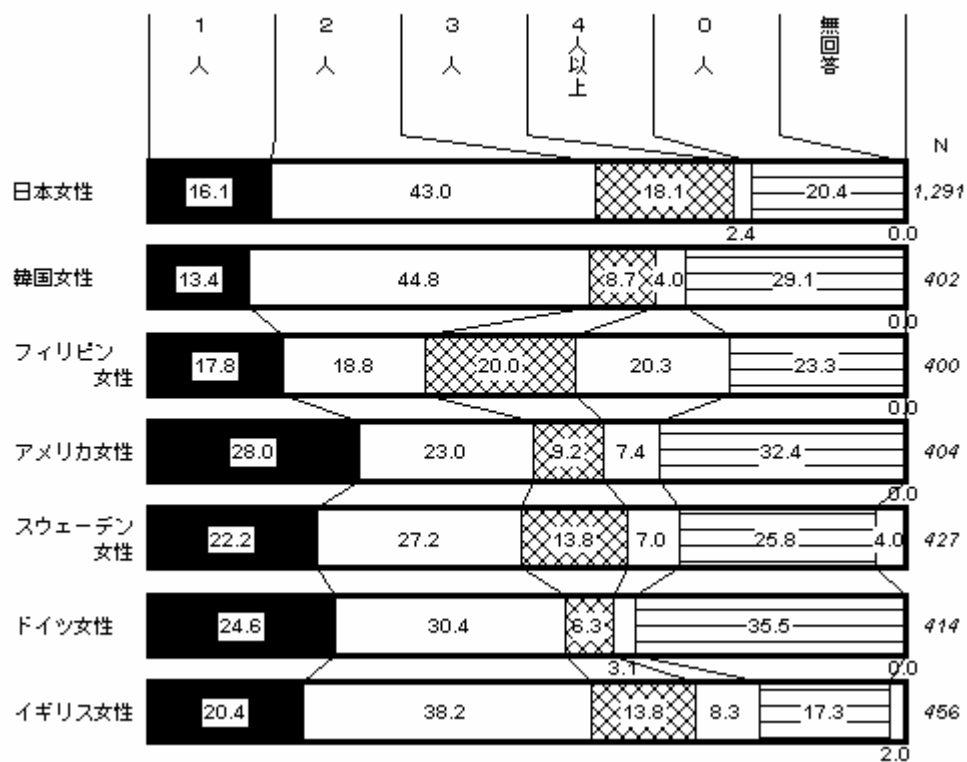
NF 4-1 末子年齢



F 4 子供の人数



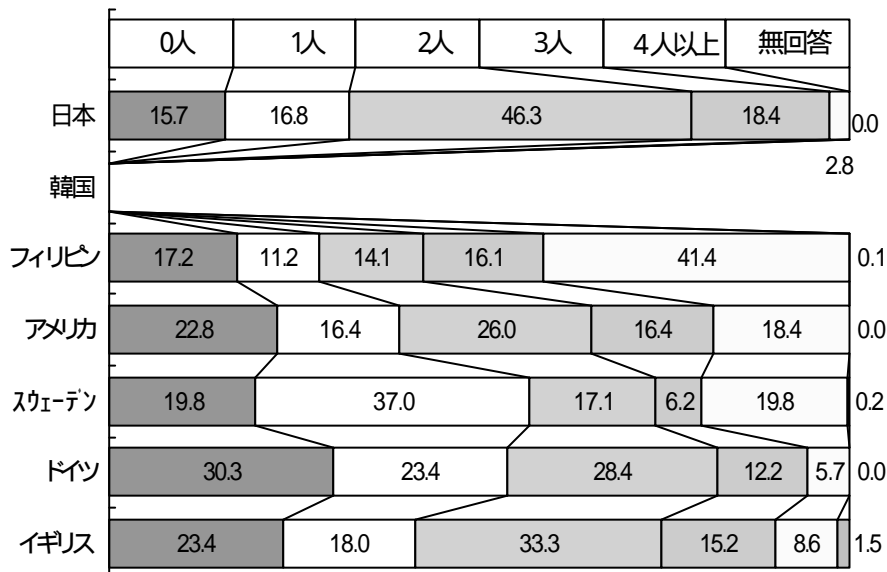
F 4 子供の人数



1982 年度調査との比較

殆どの国で子供なし(0人)が増加しているが、イギリスだけは1982年度の23.4%から17.3%へ減少している。子供数の構成を見ると、日本の子供2人が主流である傾向は変化がない。20年間で構成が大きく変わったのは、アメリカ・スウェーデンとフィリピンである。アメリカでは子供なしが22.8%から32.4%へ、子供1人が16.4%から28.0%へと大きく増加した他方、子供2人はやや減少した。反対にスウェーデンは、子供2人が37.0%から27.2%にまで減少し、子供0人は19.8%から25.8%、子供1人は19.8%から22.2%と、アメリカよりはおだやかに増加している。フィリピンでは20年前には子供4人以上が41.4%を占めていたが、今回は20.3%と半減している。

子供の人数(1982年女性)



子供の数 2002年(女性)と1982年(女性)の比較

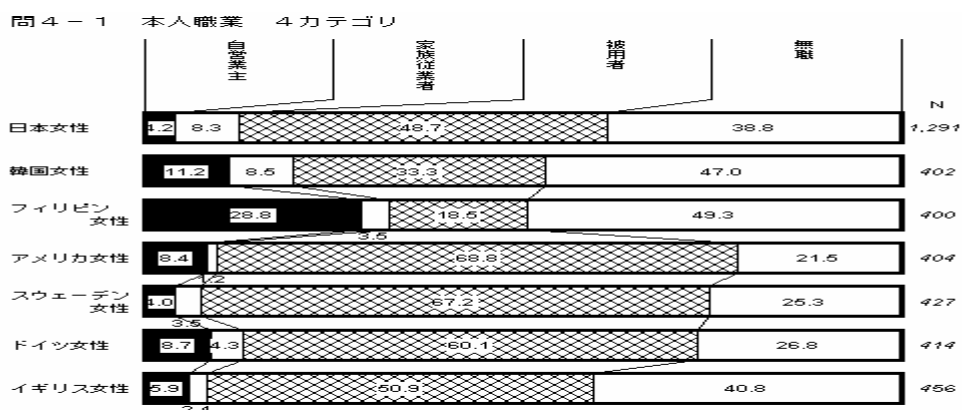
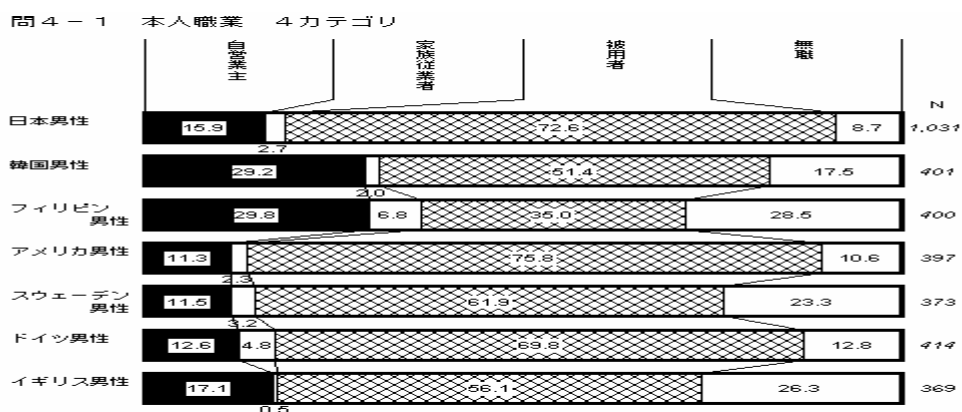
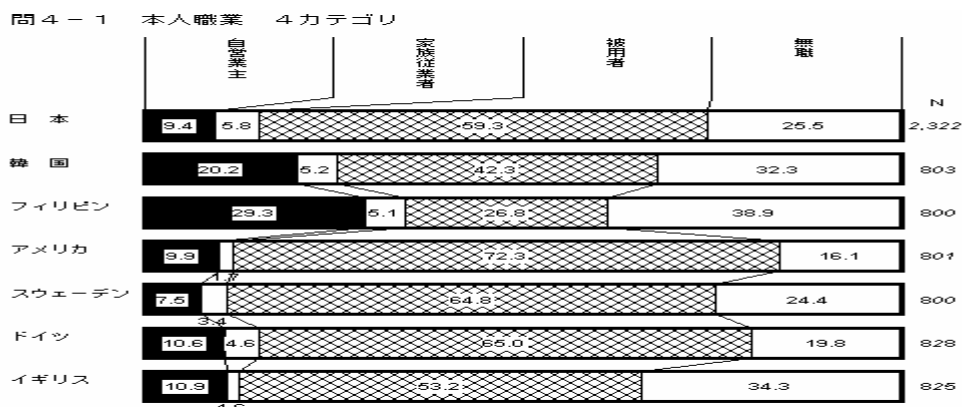
国	年度	該当数(人)	(%)					
			0人	1人	2人	3人	4人以上	無回答
日本	2002	1291	20.4	16.1	43.0	18.1	2.4	0.0
	1982	1294	15.7	16.8	46.3	18.4	2.8	-
韓国	2002	402	29.1	13.4	44.8	8.7	4.0	0.0
	1982	-						
フィリピン	2002	400	23.3	17.8	18.8	20.0	20.3	0.0
	1982	1200	17.2	11.2	14.1	16.1	41.4	0.1
アメリカ	2002	404	32.4	28.0	23.0	9.2	7.4	0.0
	1982	1200	22.8	16.4	26.0	16.4	18.4	-
スウェーデン	2002	427	25.8	22.2	27.2	13.8	7.0	4.0
	1982	1220	19.8	19.8	37.0	17.1	6.2	0.2
ドイツ	2002	414	35.5	24.6	30.4	6.3	3.1	0.0
	1982	1333	30.3	23.4	28.4	12.2	5.7	-
イギリス	2002	456	17.3	20.4	38.2	13.8	8.3	2.0
	1982	1224	23.4	18.0	33.3	15.2	8.6	1.5

5. 就業状況

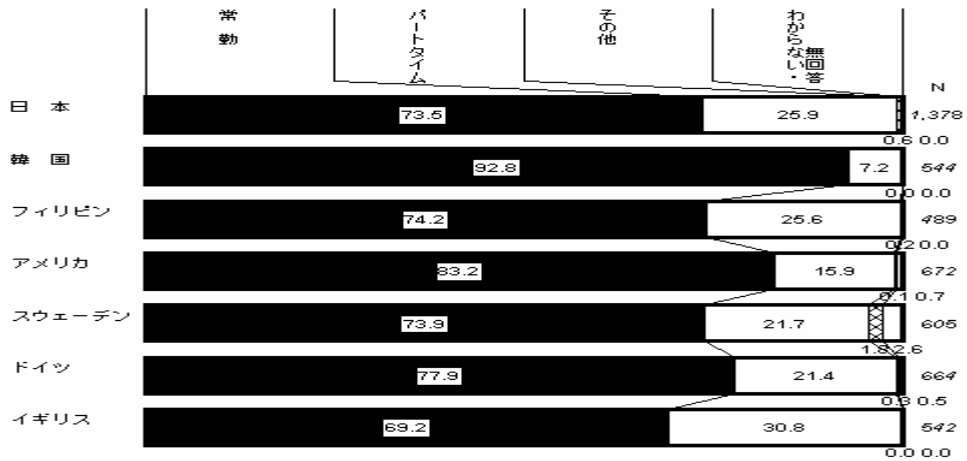
本人職業で「無職」が目立つのは、欧米4か国のうちではイギリス（34.3%）、アジア3か国のうちではフィリピン（38.9%）、韓国（32.3%）である。有職者の職業の内容を見ると、フィリピンで29.3%、韓国で20.2%と自営業主の比率が高く、その他の国は10%前後である。

男女別で見ると、スウェーデン以外の全ての国で、男性より女性の方が被用者が少ない。例外のスウェーデンは、男性61.9%、女性67.2%が被用者である。また、全ての国で、男性より女性の方が自営業主が少ないが、特に日本では男性15.9%に対し女性4.2%、イギリスでは男性17.1%に対し女性5.9%、韓国では男性29.2%に対し女性11.2%と3倍前後の違いがある。

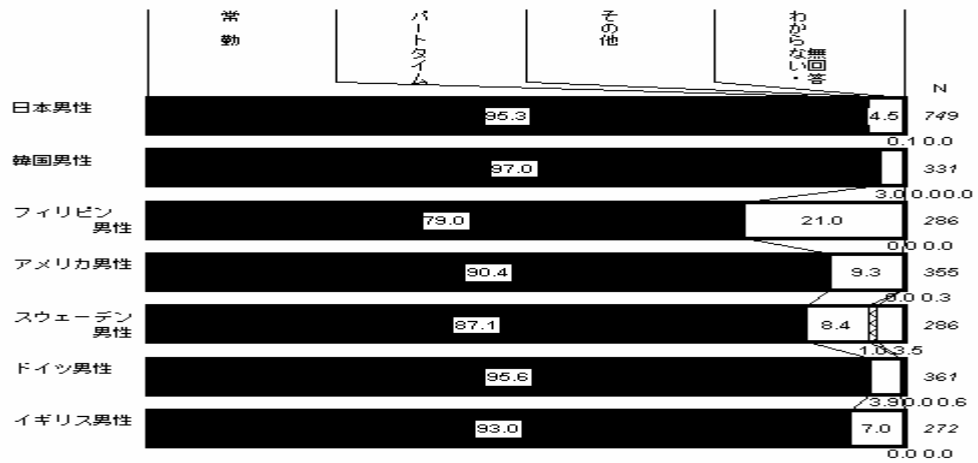
就労形態では、イギリス(54.8%)、日本(51.4%)の女性のパートタイムの比率の高さが目立つ。なお、日本調査は問5は被用者のみ、他の6か国では有職者全員に聞いている。



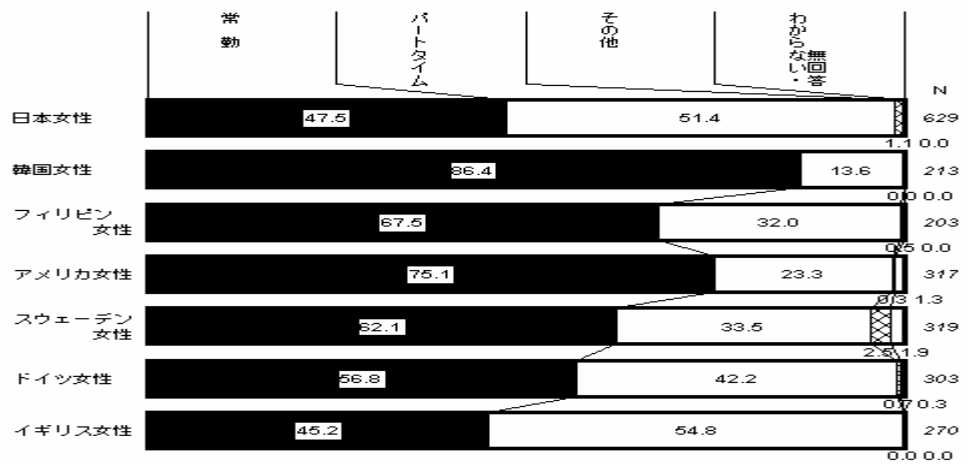
N問5 就労形態



N問5 就労形態



N問5 就労形態

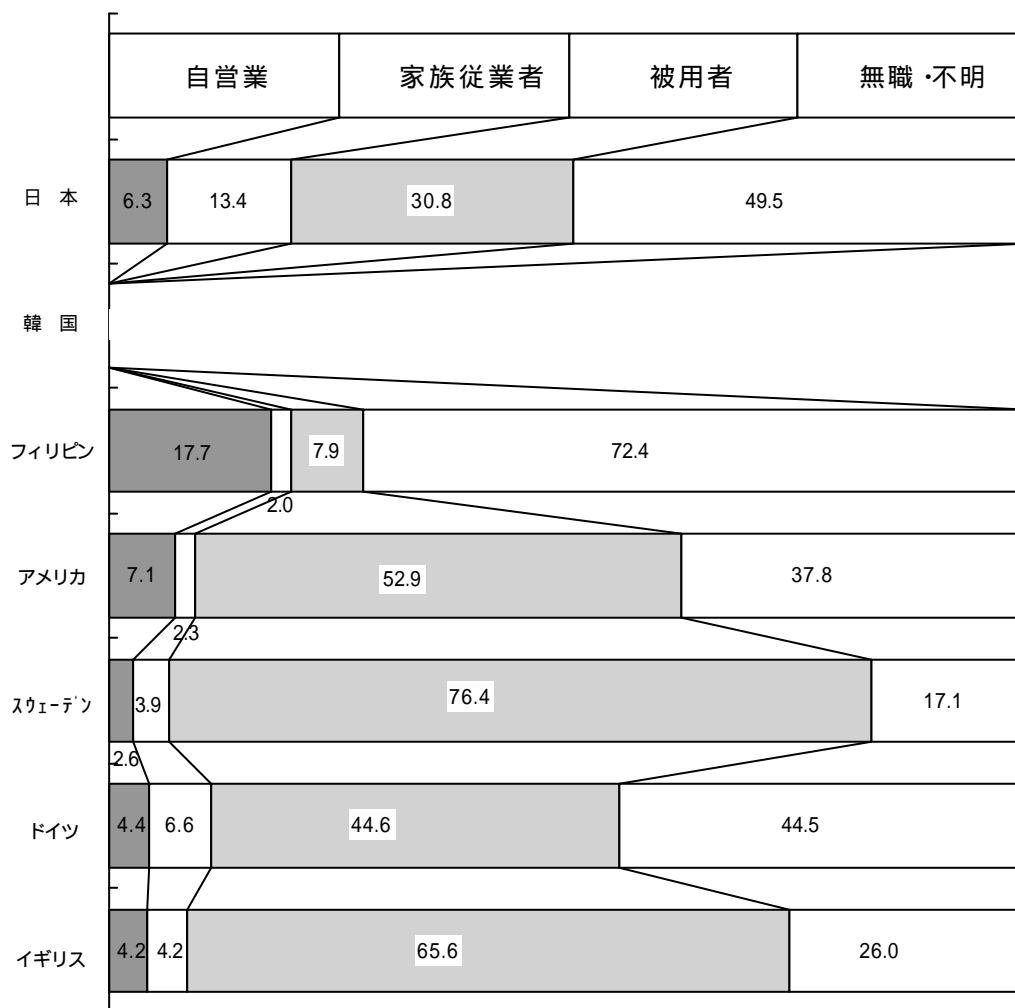


1982年度調査との比較

無職者の割合をみると、スウェーデンとイギリス以外では減少している。日本では49.5%から38.9%まで減った。減少幅が最も大きいのはフィリピン(72.4%から49.3%へ)である。無職者が増加しているのは、スウェーデン(17.1%から25.3%へ)イギリス(26.0%から40.8%へ)である。有職者の職業を見ると、ほとんどの国で「自営業」の比率は増えているが、日本だけは6.3%から4.3%へ若干減少している。

就労形態については、1982年度調査とは選択肢の設定が異なるため厳密な比較ではないが、おおむね変化は3パターンあり、スウェーデンとアメリカではパートタイムが減って常勤が増加、日本とイギリスでは常勤が大きく減少、ドイツとフィリピンは構成に大きな変化はない。

本人職業 (1982年女性)



就労形態 (1982年女性)

	常勤 (フルタイム)	パートタイム	その他・不明
日本	72.7		25.7 1.5
韓国			
フィリピン	65.0		29.9 5.1
アメリカ	67.9		32.0 0.1
スウェーデン	49.3		50.5 0.2
ドイツ	62.9		36.0 1.1
イギリス	72.1		26.2 1.8

就労形態 2002年(女性)と1982年(女性)の比較

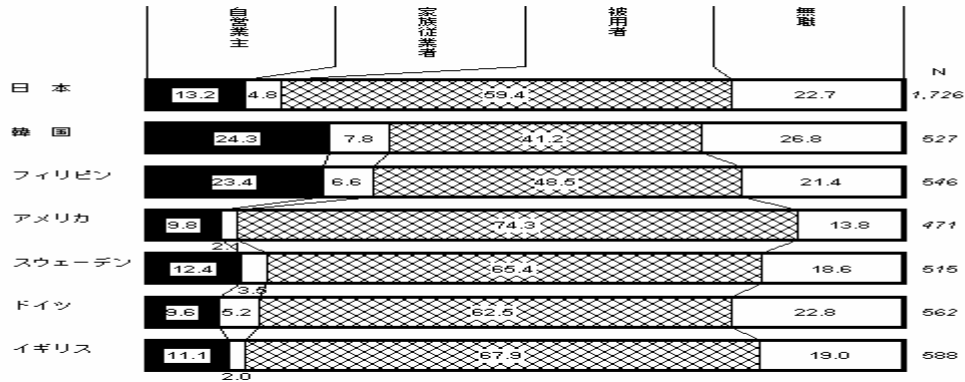
国	年度	合計	(%)			
			常勤 (フルタイム)	パートタイム	その他	わからない 無回答
日本	2002	629	47.5	51.4	1.1	0.0
	1982	635	72.7	25.7		1.5
韓国	2002	213	86.4	13.6	-	-
	1982	-				
フィリピン	2002	203	67.5	32.0	0.5	-
	1982	331	65.0	29.9		5.1
アメリカ	2002	317	75.1	23.3	0.3	1.3
	1982	753	67.9	32.0		0.1
スウェーデン	2002	319	62.1	33.5	2.5	1.9
	1982	1011	49.3	50.5		0.2
ドイツ	2002	303	56.8	42.2	0.7	0.3
	1982	744	62.9	36.0		1.1
イギリス	2002	270	45.2	54.8	-	-
	1982	906	72.1	26.2		1.8

6. 配偶者就業状況

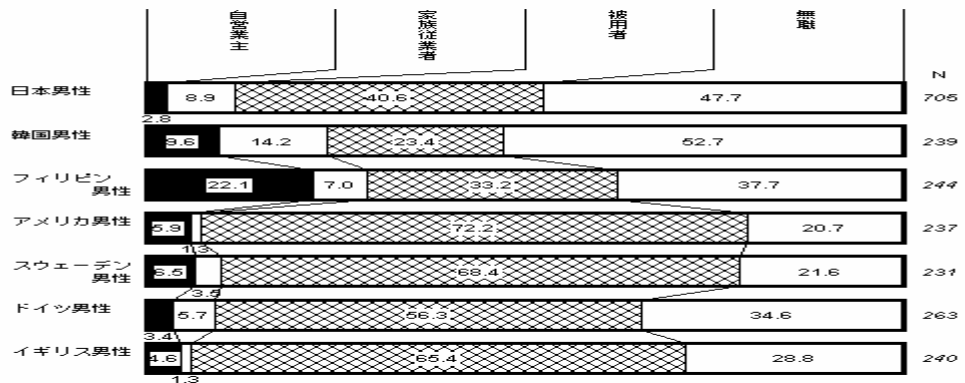
5の本人職業同様、韓国・フィリピンは自営業が多い。

男女別に見ると、男性回答（配偶者・パートナーは女性）では無職が一番多いのは韓国（52.7%）次いで日本（47.7%）であり、ほぼ半数を占める。逆に有職者が多いのはアメリカ（72.2%）・スウェーデン（68.4%）である。女性回答（配偶者・パートナーは男性）では無職者は少なくなるが、アジア3か国・アメリカ（5~8%台）に比してヨーロッパ3か国では無職が12~16%台を占め、やや多くなっている。なお、本問についても、日本調査は被用者のみ、他の6か国では有職者全員に聞いている。

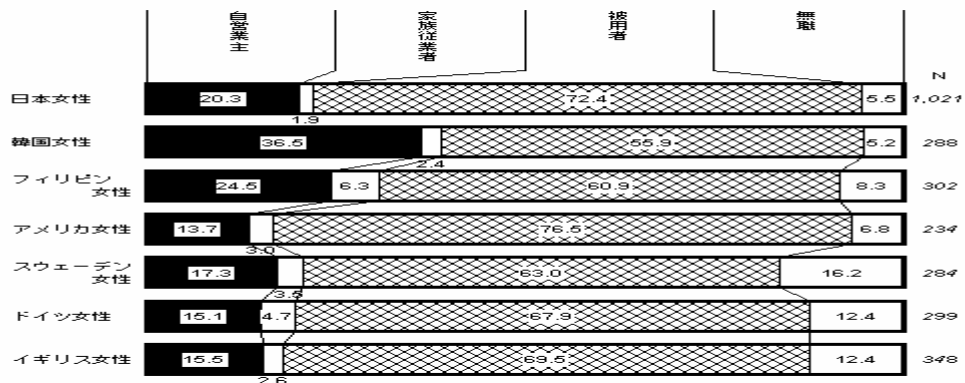
問14-1 配偶者職業 4カテゴリ



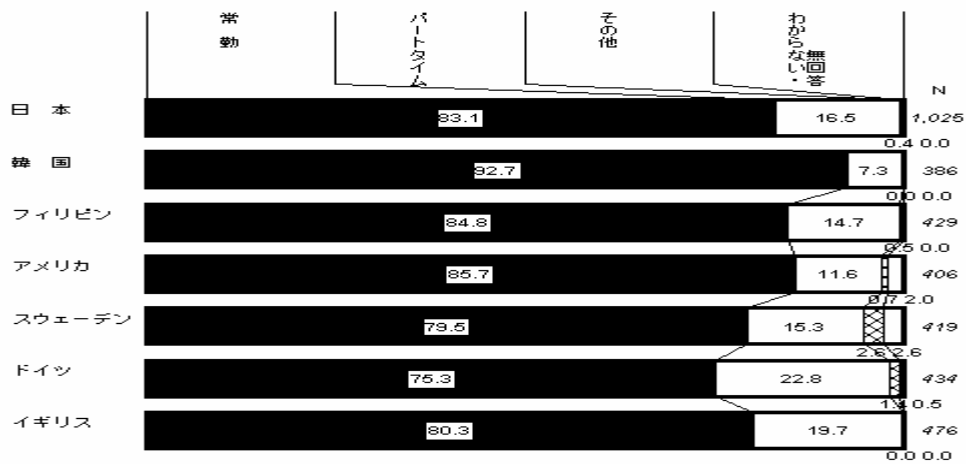
問14-1 配偶者職業 4カテゴリ



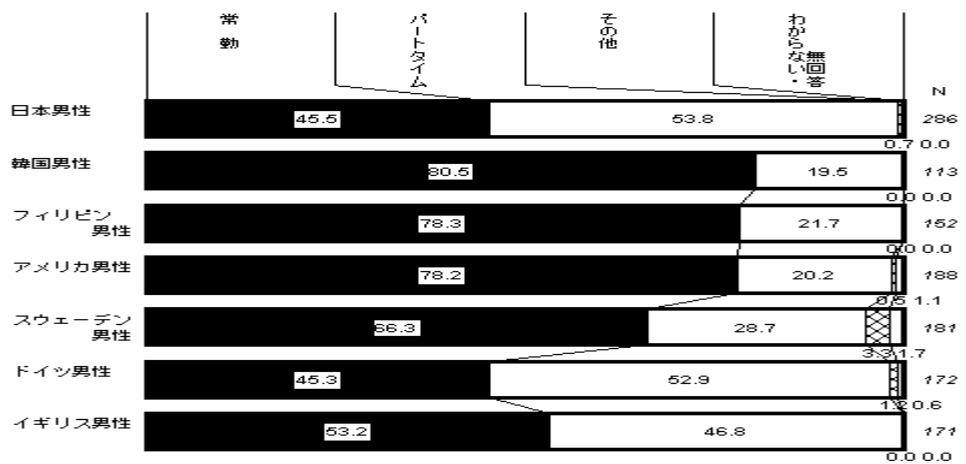
問14-1 配偶者職業 4カテゴリ



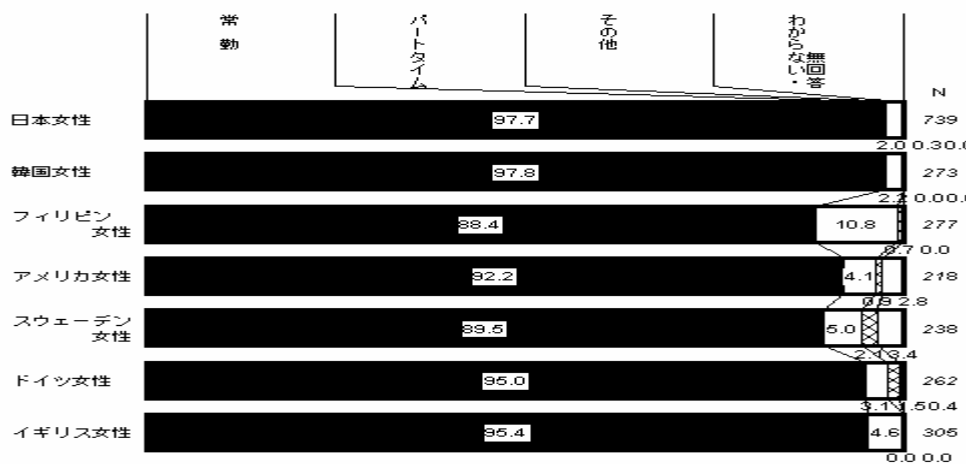
問14-2 配偶者就労形態



問14-2 配偶者就労形態



問14-2 配偶者就労形態



1982年度調査との比較

夫の職業については、スウェーデン・イギリスで自営業が増え、日本で家族従業者が減っている。日本・アメリカで被用者が増え、フィリピンで無職が増えている。

配偶者職業 2002年(女性)と1982年(女性)の比較

(%)

国	年度	該当者(人)	自営業					家族従業者				
			自営業計	農林漁業	商工サービス業	専門的職業	その他	家族従業者計	農林漁業	商工サービス業	専門的職業	その他
日本	2002	1021	20.2	2.4	17.0	0.8	-	1.0	0.0	1.7	0.2	-
	1982	1138	24.0	4.1	17.0	2.9	-	4.0	0.7	2.3	1.0	-
韓国	2002	288	36.4	3.1	31.9	1.4	-	2.4	0.0	2.4	0.0	-
	1982	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
フィリピン	2002	302	24.5	2.3	19.9	1.0	1.3	6.2	2.3	2.6	0.3	1.0
	1982	976	31.4	13.3	16.4	1.7	-	7.3	4.4	2.7	0.2	-
アメリカ	2002	234	13.6	0.4	8.1	5.1	-	3.0	0.0	2.1	0.9	-
	1982	888	14.7	1.2	8.4	5.1	-	3.5	0.6	2.3	0.6	-
スウェーデン	2002	284	17.3	1.8	9.2	4.9	1.4	3.5	0.0	2.1	1.4	-
	1982	1000	9.7	1.8	6.0	1.9	-	4.5	1.4	3.3	0.2	-
ドイツ	2002	299	15.0	0.7	9.7	1.3	3.3	4.6	0.3	4.0	0.0	0.3
	1982	983	15.6	4.8	7.2	3.6	-	3.4	0.7	2.3	0.4	-
イギリス	2002	348	15.5	0.6	10.6	4.0	0.3	2.6	0.0	2.6	0.0	-
	1982	1027	10.2	0.5	6.9	2.8	-	3.9	0.4	2.9	0.6	-

国	年度	被用者					無職				
		被用者計	役員・管理職	専門技術職	事務職	労務職	その他	無職計	主婦・主夫	学生	その他
日本	2002	72.3	8.6	2.5	31.4	29.8	-	5.5	0.3	0.0	5.2
	1982	67.6	10.0	11.5	22.0	24.1	-	4.5	0.3	3.6	0.6
韓国	2002	55.8	1.7	10.1	28.8	14.9	0.3	5.2	0.0	0.0	5.2
	1982	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
フィリピン	2002	60.9	2.3	3.0	7.9	41.4	6.3	8.2	2.6	0.3	5.3
	1982	57.7	5.0	9.9	7.2	35.6	-	3.5	0.5	1.9	1.1
アメリカ	2002	76.5	14.1	22.2	4.3	33.8	2.1	6.8	0.4	0.4	6.0
	1982	68.1	10.9	13.9	6.0	37.3	-	13.9	0.7	9.9	3.3
スウェーデン	2002	63.0	4.6	12.0	14.4	29.9	2.1	16.2	0.0	4.6	11.6
	1982	66.8	13.5	17.8	5.4	30.1	-	18.6	0.2	3.5	14.9
ドイツ	2002	68.0	16.4	19.4	18.1	13.4	0.7	12.4	0.7	0.3	11.4
	1982	67.3	27.6	11.7	2.8	25.2	-	13.7	0.6	3.6	9.5
イギリス	2002	69.5	10.9	5.7	21.0	31.9	-	12.4	0.9	0.0	11.5
	1982	75.5	10.5	24.8	9.1	31.1	-	10.5	0.4	8.3	1.8